



「地域に散らばる難聴児支援クリスマス会」

私たち教育支援部は、校内支援の他に、県北にある6市6町の地域支援を行っています。そこでは、難聴学級や通常学級で学習しているお子さんがたくさんいて、在籍している保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校への支援と共に、それぞれのお子さんやご家族への相談支援も行っています。

12月24日 クリスマスイブに、県北地域に散らばっている難聴児の5年生を対象に、横の繋がりを作りたいと考えクリスマス会を企画しました。対象となる5年生は12人。それぞれ、聴覚支援学校、地域の小学校の難聴学級や通常学級に在籍しています。先日のクリスマス会にはその中の6人のお子さんご家族が参加されました。

自己紹介

初めて会う友達もいるのでみんな緊張していました。話題サイコロを用いての自己紹介や、名刺交換も取り入れながら行いました。



ゲーム(宝探し・しっぽ取り)

宝探しは、ヒントカードがちょっと難しい言葉も使っていて、頭をひねらないと解けない問題でした。悩んでいる友達を助ける様子も見られました。しっぽ取りはチーム戦。いろいろな長さのしっぽをどうやったら取られないですむのか相談して取り組みました。



情報交換

ゲームをしている間、保護者は情報交換をしました。「あら、家の近くだわ!」という声も聞こえてきました。



ポスターセッション(障害理解)

「楽しい学校生活～こんな時どうする～」という題目で学習や生活の中での困ったことを出し合い、その時の気持ちや対処法などを相談しました。また、友達関係で疎外感を感じたときなどのようなことを感じてどのように対応したのかなど具体的な例をあげて話し合うことができました。

中学校進学を考えるこの時期、自分なりの解決方法を考える事で、これからの学校生活の中で自分の障害と向き合ったり解決していく力を身につけたりして欲しいと考えます。



プレゼント交換

今回の参加費は、500円のプレゼントでした。準備してきたプレゼントのくじ引きを行いました。それぞれこの日に向けてプレゼントを工夫し準備して持ってきてくれました。



感想

活動の終わりには、それぞれの感想をカードに書いてクリスマスツリーに飾ってもらいました。子供たちや保護者のみなさんから、「きてよかった」という感想をいただいています。下に一部のせておきます。



〔感想(一部)〕

子供(5年生)

- ・友達ができてうれしかった。またやりたい。
- ・久しぶりに友達に会えてうれしかった。
- ・ゲームして楽しかった。プレゼントうれしかった。
- ・みんなが補聴器をつけていて緊張した。
- ・同じ障害をもっている人がいて集まれて良かった
- ・聞こえないときにどうしたらよいのか意見を出し合い話せて良かった。

保護者

- ・新しい出会いに感謝。いろいろな話げできた。
- ・新しい友達や久しぶりに会った友達と交流ができ、初対面でも楽しそうでした。
- ・コロナ禍で学校行事が中止になっていく中、久しぶりに子供の楽しい姿にうれしく思いました。
- ・普段、話したり相談したりする人がいないので時間が足りないくらいでした。

今回、イベントのお知らせの際に、「恥ずかしいから」「困っていないから」などの声も聞こえてきました。確かに、5年生という歳はそういう時期かも知れません。しかし、中学校への進学を考える時期としては、自分の障害をしっかりとらえ、同じ障害の友達と遊んだり話したりする事で、気づきや安心感を得ることも多いと思います。会の中で、ゆくゆくは自分たちが地域にいる小さな子達の支援をしてもらえるように話をしました。中学生になったら、今度はボランティアで参加して欲しいと話したら、みんなが首を縦に振ってくれました。頼もしい先輩となって地域の難聴児の支援にも取り組んでくれると思います。



今後も本校では、地域に散らばる難聴児のつながり支援として、4年生や5年生を対象に企画していきたいと思います。